

資料5： アンケート調査結果

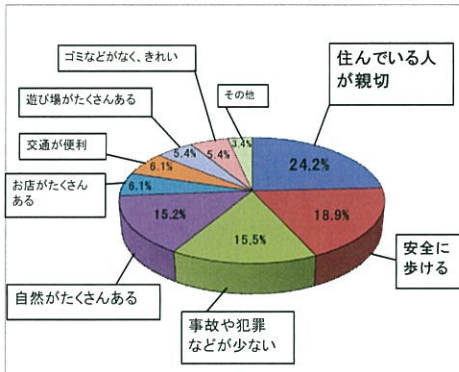
《小学生アンケート調査結果》

調査日時： 平成 25 年 2 月 27 日

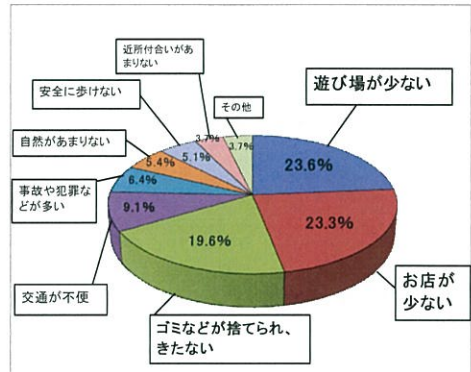
調査対象： 小学 6 年生

「小学生と町長が町づくりを語る会」「まちづくりアンケート」調査結果

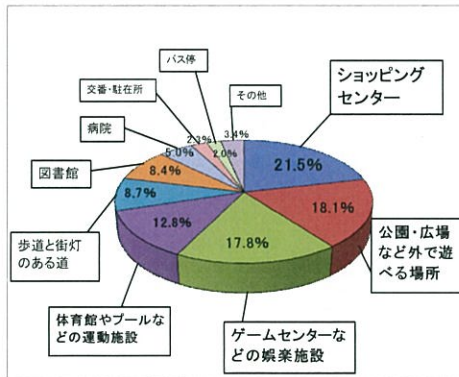
○住んでいる「場所（近所）」の好きなところ



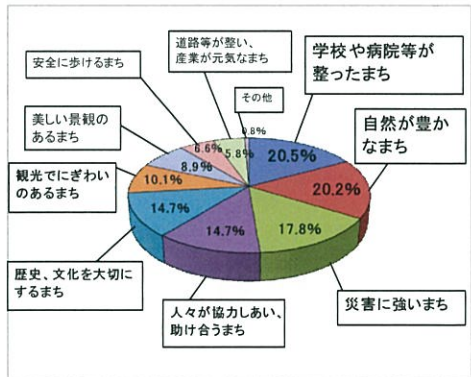
○住んでいる「場所（近所）」の不満なところ



○住んでいる「場所（近所）」にできてほしいもの



○大人になったとき、どんな「まち」になってほしいか



○町長になったらやってみたいこと

- (多い意見)
- ・緑を増やして自然の豊かなまちをつくる。駅などに花をたくさん植えて、きれいなまちにする。
 - ・川や海、森などをきれいにする。ゴミ拾い等の活動をしてきれいなまちにする。
 - ・子どもや大人が楽しく安全に暮らせる、災害に強いまちにする。危ない場所を減らす。
 - ・子どもなどが安全に遊びやすい大きな公園や広場、運動施設などを作る。
 - ・大人が安全に子供を育てられるように、保育園や病院などを建てる。
 - ・もう少しにぎやかにするため、大きなショッピングセンターやお店などを建てる。
 - ・観光客などを増やして、良いまちにする。プールなどを作って、多くの人が遊びに来るまちにする。
 - ・昔からある建物やお祭りが残る歴史や文化を大切にすまちにする。
 - ・色々なイベントを開いて、交流を深くし、にぎわうまちにする。カフェなど人が集まる場所などをつくる。
 - ・昔の祭りを復活させる。祭りを増やす。
 - ・まちの人たちが協力し合うまちにする。
 - ・出来るだけみんなの意見・案を聞いて、みんなが暮らしやすいまちにする。

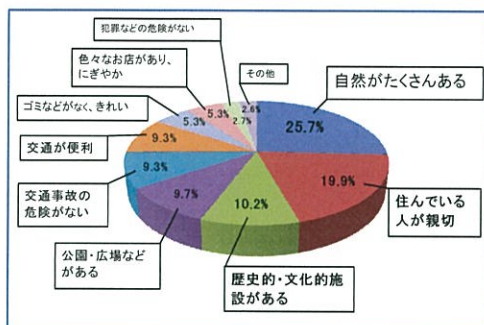
《中学生アンケート調査結果》

調査日時 : 平成 26 年 2 月 4 日

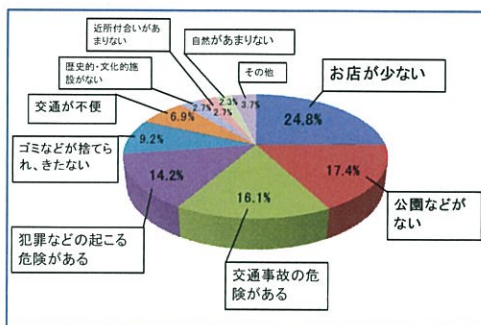
調査対象 : 中学 2 年生

「中学生と町長が町づくりを語る会」「まちづくりアンケート」調査結果

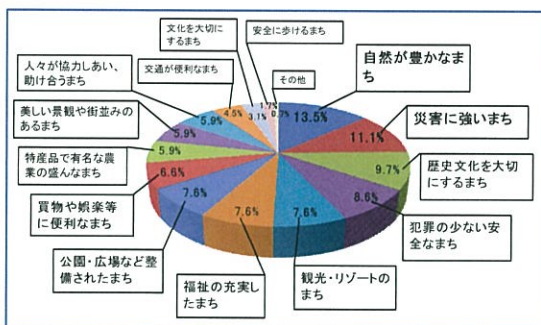
○住んでいる「場所（近所）」の好きなところ



○住んでいる「場所（近所）」の不満なところ



○大人になったとき、どんな「まち」になってほしいか



○もし町長になったらやってみたいことは

多かった意見

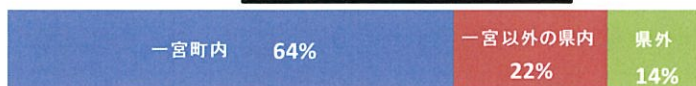
- ・お店を増やしたり、人が入りやすい雰囲気を作り、商店街を活性化する。
- ・便利なお店をたくさん建てる。(ショッピングモール、コンビニ、レストラン、スーパー、カフェなど)
- ・町民のみながふれあえるイベントをたくさん行う。
- ・スポーツなどのイベント(ウォークラリー、水泳大会、マラソン大会、トライアスロン、ピーチクリーン大会、物作り体験など)を開催する。
- ・観光客がたくさん来るにぎやかなまちにする。
- ・清掃のボランティアを増やし、海や川をもっときれいにする。
- ・自然を大切に、豊かにする。
- ・子供連などが外で安全に遊べる公園、広場及び運動場などを造る。
- ・鉄道やバスをもっと整備し、便利なまちにする。
- ・街灯を増やし、夜でも明るく安心できるような道にする。
- ・犯罪の少ない安全で住みやすいまちにする。
- ・水害や津波などの災害に強いまちにする。
- ・特産品を他の地域に売り出す。
- ・神社や昔からある行事、お祭りなどの歴史文化を大切にするまちにする。
- ・人々が互いに協力し合い、仲良く助け合うまちにする。
- ・気持ちよく、住みやすいまちで、毎日が楽しく笑顔が絶えない町にする。
- ・親でも子供でも遊んだり、おしゃべりしたり出来る場所を設ける。
- ・子供連を育てやすく、お年寄りが住みやすい福祉の充実したまちにする。
- ・町をもっと有名にする。
- ・たくさんの人に住んでもらうためPRする。 など

《新成人アンケート調査結果》

調査日時 : 平成 26 年 1 月 12 日

調査対象 : 新成人

問 現在の居住地は？

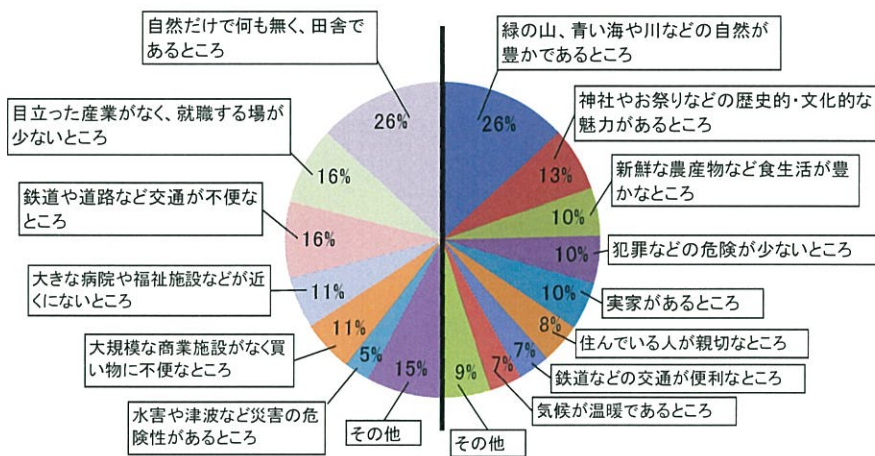


問 将来、一宮町に住みたいか？

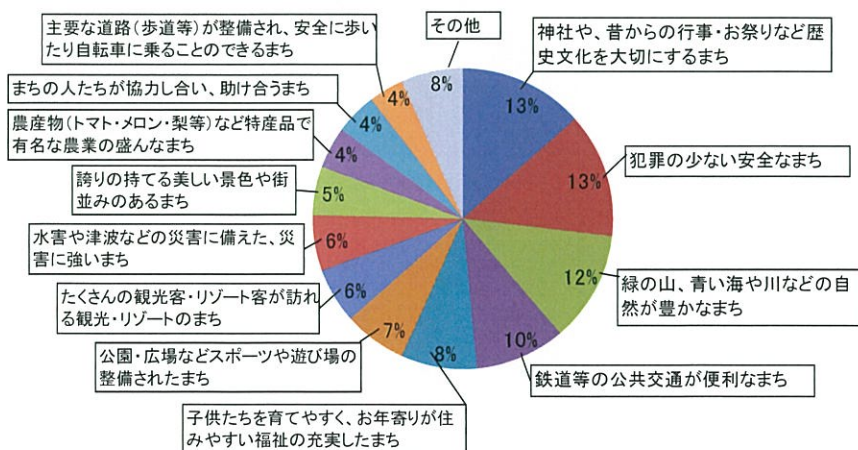


住みたくない理由

住みたい理由



問 将来、どんなまちになったらいいか？



資料6 : 用語の解説

【あ】	
アクセス	鉄道駅や道路等の主要な交通施設の利用のしやすさ、道路からの出入りのしやすさなどをいう。
NPO (Nonprofit Organization)	営利を目的とせず、政府からも独立して、福祉・まちづくり・環境保全・国際交流・災害救援などの様々な社会貢献活動を行う民間組織の総称。NPO法人とは、特定非営利活動促進法（1998年3月成立）により法人格を得た団体（特定非営利活動法人）のことを指す。法人格をとっていないNPOも多い。
【か】	
環境保全型農業	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和に留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業をいう。
環境循環型農業	農業に用いられる肥料や農薬などを循環利用するもの。狹義では農業による廃棄資材を、広義では農業生産以外に加工業や飲食業、食品販売業、家庭から出る有機物（生ゴミ）を炭化・堆肥化することにより、廃棄物を農業資源として利用していく農業をいう。
緊急輸送道路	大規模な地震等の災害が発生した場合に、救命活動や物資輸送を円滑に行うために、県や市などが事前に指定した道路をいう。
グリーンツーリズム	都市住民が農家等に滞在して農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動をいう。
減災	災害時において発生し得る被害を最小化する取り組みのこと。防災が被害を出さないことを目指す総合的な取り組みであるのに対し、減災とはあらかじめ被害の発生を想定した上で、その被害を低減させていこうとするもの。
交流人口	居住者などの定住人口に対して、観光客など他地域から訪れる（交流する）人のこと。
コミュニティ道路	歩行者などが安全、かつ快適に通行できるよう、車道の蛇行や歩道を広げ、植栽やストリート・ファニチャー（※別途参照）を設けた道路をいう。
【さ】	
里山	集落等の周辺の低山地帯を総称し、雑木林や竹林、ため池、柳田、畑等を含めた場所を指す。
就従比（しゅうじゅうひ）	従業地就業者数（従業している場所が一宮町内である人の数）／常住地就業者数（一宮町内に常住している就業者の数）から求められる比率のこと。就従比が1.0を下回る場合、全体として、町外から来る就業者より町外へ出て働く就業者が多い傾向を示す。
集約型都市構造	都市内の多くの人々にとっての暮らしやすさと都市全体の持続的発展を確保するため、都市内の中心市街地や駅周辺等を都市機能の集約を促進する拠点（集約拠点）」として位置づけ、集約拠点と都市内のその他地域を公共交通ネットワークで有機的に連絡された都市の構造をいう。
水源かん養機能	降水を貯留し、河川に流れ込む水の量を平準化して洪水の緩和と川の流量を安定化させる機能および水質を浄化する機能のこと。

ストリート・フ ァニチャー	街頭を彩る家具という意味で、バスの停留所、公衆電話ボックスなどの小建築物や街灯、ベンチ、郵便ポスト、くず入れなどが含まれる。歩道を単に歩くための空間としてだけでなく、楽しく散歩することができるようにするための施設で、デザインに趣向をこらしたものが多くもうけられるようになっている。
生物多様性	遺伝子、種、生態系など全てを包括する言葉で、地球上の生物の多様さと、自然の営みの豊かさを指しており、単に動植物の種類の多さだけでなく生物の長い歴史と相互のつながりをも意味する。
【た】	
地域高規格道路	高規格幹線道路網と一体となって高速交通体系の役割を果たし、地域構造を強化する規格の高い道路をいう。通勤圏域の拡大や、都市と農山村地域との連帯の強化、物資の流通、人の交流の活発化などを促す機能を有する。
長期未着手都市 計画道路	都市計画道路は、機能的な都市活動が十分に確保されるよう都市の基盤施設として、都市計画法に基づいて都市計画決定された道路である。都市交通施設等の計画では、計画策定時の20年後を目標年次と考えており、20年以上未着手状態にある路線・区間は、計画としての意義が低下している可能性が高く、今後も事業着手の見通しが立たない可能性が高い。そのため、20年以上の長期未着手の都市計画道路は、見直しを優先的に検討すべき路線とされた。
低炭素都市づく り	現在、大気中の温室効果ガスの増加による地球温暖化が問題となっており、それに対応するため、住宅の環境性能向上などの単体対策のみならず、市街地の拡散抑制と公共交通活用など交通対策との組み合わせによる集約的な都市構造への誘導や、緑地の保全と都市緑化の推進、再生可能エネルギーの活用等都市分野における総合的な取り組みをいう。
都市計画区域マ スタープラン	平成12年の都市計画法改正で、新たに位置づけられた計画で、県が、市町村界を超える広域的な観点から、都市計画の目標や主要な都市計画の決定の方針等を定めるもの。(都市計画法第6条2「都市計画区域の整備・開発及び保全の方針」のこと)
【は】	
ハード施策・ソ フト施策	ハード施策は、建物や土地利用、道路・公園などの都市施設、様々な都市的業務等の施策をいい、ソフト施策はまちづくりの仕組みやルールなど人に英知や力によって行う施策のこと。
パブリックコメ ント	行政が基本的な政策等を策定する時に、その政策等の趣旨、目的、内容等の必要な事項を広く公表し、市民から寄せられた意見および情報を考慮して、最終的な意思決定するとともに、意見等の概要およびこれに対する行政の考え方等を広く公表する一連の手続きをいう。
バリアフリー	障がい者や高齢者等が社会生活をするうえで支障となるものを取り除き、生活しやすくすること。
ビオトープ空間	ドイツ語の「Bio」(生命)と「Topo」(場所)の合成語でドイツの生物学者ヘッケルによって提唱された学術用語で、自然環境を保全あるいは創造する際の基本となる単位であると同時に、野生の動植物や微生物が生息し、自然の生態系が機能する空間をいう。
ポケットパーク	チョコキのポケットほどの公園という意味で、わずかなスペースを利用して都市環境を改善しようとするもの。

<p>【ま】</p> <p>まちづくり条例</p>	<p>自治体が、市民の合意や協力を得ながら、良好なまちづくりを進めていくことを目的として策定する条例をいう。条例は自治体の議会の議決により定めるものであり、自治体としての意思を明確に示したものである。都市によって条例の内容は異なるが、まちづくりの理念、まちづくり区域の設定、開発の規制・誘導、まちづくり協議会の設置、協議組織への財政的・技術的支援、計画策定の手続きなどを定めている。</p>
<p>【や】</p> <p>ユニバーサルデザイン</p>	<p>障がい者、高齢者、健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。</p>
<p>【ら】</p> <p>ライブラリー機能</p>	<p>①図書館、図書室 ②映画、写真、レコードなどで資料として収集し、保管してあるもの、またその施設。</p>
<p>レイライン (ley line)</p>	<p>レイラインは、古代の遺跡には直線的に並ぶように建造されたものがあるという仮説の中で、その遺跡群が描く直線をさす。レイラインの存在は、1921年にイギリス人のアマチュア考古学者アルフレッド・ワトキンスによって提唱された。レイラインを認める動きは、学術的には主流とは言えないが、日本にも多数あるとされ、代表的なものとして、「太陽の道」や「御来光の道」がある。後者は、春分の日と秋分の日、太平洋から登った曙光が貫くレイラインで、その線上には、上総一の宮玉前神社、寒川神社、富士浅間神社、富士山頂、日蓮宗の霊山として名高い七面山、出雲大社の日御崎神社等、名だたる聖地が並ぶ。</p>